**大分県における訪問リハビリテーションの効果検証**

（公社）大分県理学療法士協会　渉外部

平成26年5月から7月末までの期間で、当協会の理学療法士が従事する訪問リハビリテーション実施施設・事業所において、効果検証に対する同意を頂いた新規利用者22名を対象に、

①　統一した指標（訪問リハビリテーション評価表）を用いた生活機能に関する評価（書式1）

②　理学療法士に対する訪問リハビリテーション評価表使用に関するアンケート調査

③　利用者に対する満足度アンケート調査

以上、3点について効果検証を実施しました。

今回の効果検証結果をもとに、訪問リハビリテーション（以下、訪問リハ）の効果を示すにふさわしい項目・尺度の検討や、訪問リハさらには生活期の理学療法の効果の可視化へ役立てていきたいと考えております。

書式1　訪問リハビリテーション評価表

**１．訪問リハビリテーション評価表を用いた生活機能に関する評価結果**

**・回収**：22名（男性：10名、女性：12名）

**・年齢**：80.3±9.6歳

**・病院退院直後の利用者**：13名

**・訪問リハ開始までの期間**：23±30.3日

**・訪問リハの平均利用回数**：週1.6回

**・期間中の訪問リハ終了者**：7名(31.8％)

**・目標達成での終了者**：5名（22.7％）

**・主病名**

**・介護保険における要介護認定**

**・訪問リハの初期時目標**

**・心身機能の評価**

**・リハプログラム**

**・日常生活動作（Barthel Index）**

初期時平均70.0±20.4点

改善11名(50％)，維持8名(36.4％)，低下0名（0％）

一時向上2名(9.1％)，評価困難1名(4.5％)

**・手段的日常生活動作**

初期時平均16.0±13.2点

改善10名(45.5％)，維持11名(50％)，低下0名（0％）

評価困難1名(4.5％)

**２．アンケート調査**

回収：施　設・・・30施設中7施設（23.3％）

　　　利用者・・・22名中11名（50.0％）

①理学療法士に対する訪問リハ評価表使用に関するアンケート調査

**１．評価用紙を使用して、良かったことを教えて下さい。**

・データ内容をまとめやすい。

・プログラムの内容やＡＤＬの変化が確認できる。

・月に1回評価し直す習慣がついた。

・定期的に評価を行う事の重要性を再確認することができた。

・評価表があることで、利用者様の現状を把握し易かった。

**２．評価用紙を使用して、困ったことを教えて下さい。**

・ADL（BI)、IADLの項目が在宅用に合致させるのに苦慮した。

・微妙な介助量、自立動作の変化をどう表記するか、考えさせられた。

・利用者様の状態などの影響で定期的に評価を行う事ができなかった。

・具体的な評価内容や目標、プログラムの内容は書きにくさを感じた。

・IADLの点数がつけにくいと感じた。

・現場で（訪問先）使う分には時間を要すため、実際の現場では施設で用意した簡易評価を使い、本評価表は業務終了後の記録時間に書くことが多かった。

・認知機能が良くわからなかった。

**３．今後、評価用紙をどのように改定すれば、もっと使用しやすくなると思いますか。**

・使用しやすさは十分ではないかと感じる。

・ニーズの把握ができるような項目があっても良いのではないか。

・ｗｏｒｄ等使用し、自由度が広がれば使用しやすい。

・訪問では変化改善が少なく、細かい介助量や自立度の変化が数値化できると良いと感じた。

・地域ケア会議では、ADL面の評価よりも、握力、ＴＵＧ、片脚立位、ＣＳ３０などの評価のことを聞かれることが多かったので、それらの項目を記入する枠が、記入しやすい枠としてあればいいのでは良いと感じた。

・ADLの評価がBarthel IndexよりFIMの方が良いのではないかと感じた。

**４．今後も、当協会作成の評価用紙を使用して頂けますか。**

|  |  |
| --- | --- |
| はい | ２施設 |
| いいえ | ０施設 |
| どちらともいえない | ５施設 |

②利用者に対する満足度アンケート調査

質問１

**ａ．私たちの施設の訪問リハをどのようなきっかけで知りましたか？**

|  |  |
| --- | --- |
| ケアマネジャー | 7名 |
| 入院していた時の主治医 | 3名 |
| 入院していた時のリハビリの係り | 3名 |
| 入院していた時の相談員 | 2名 |
| かかりつけ医 | 1名 |
| なし | 1名 |

**b．それについてどのように感じていますか？**

・ありがたいと思う。

・なかなか通院はできないので助かる。

・以前は自分なりのやり方でしたり、しなかったりで動きが悪くなっていたと思う。

・教えてもらわなければ知らなかった

・来てもらうと安心で、相談もできます

・膝が悪い時に見てもらったので知っていた。

・初めに来たときは良かったけど体調の都合で今はリハビリをしていない。

・特になし

質問２

**ａ．訪問リハを利用してどんな良いことがありますか？**

|  |  |
| --- | --- |
| 安心して生活ができる | 7名 |
| 気持ちが良い | 5名 |
| 外に出て歩けるようになった | 3名 |
| トイレや着替えなど身の回りのことができるようになった。 | 3名 |
| 心が明るくなった | 1名 |
| 家事に参加できるようになった | 1名 |
| なし | 1名 |

**b．それについてどのように感じていますか？**

・いっぺんには良くならないけれど、薄紙をはぐように少しずつ変わっていく様です。

・家族にも負担がかからなくてよい。

・週に何度も通院はできないので自宅でリハビリができてうれしい、ありがたい。

・少しずつ快方していることを実感します。

・生活に張りが出てきたようです。

・専門の方に見てもらって安心できる。

・どんな運動をしたらよいか教えてもらえた。

・病気や薬のことも教えてもらえる。

・7月の半ばよりリハビリをやめてます。

質問３

**ａ．訪問リハを継続している理由はなんですか？**

|  |  |
| --- | --- |
| 気持ちが良いから。 | 5名 |
| 訪問リハがあることで安心して生活できる。 | 5名 |
| 散歩ができるようになりたい。 | 3名 |
| 自分の足で通院ができるようになりたい。 | 1名 |
| 外に出ていろいろ行きたいが手段がない | 1名 |
| 料理ができるようになりたい。 | 1名 |

**b．それについてどのように感じていますか？**

・５分くらい外を一緒に歩けるようになった

・体に合ったリハビリをして頂きたいです。

・ケアに来て下さる先生方とお話をさせて頂いて気持ちが明るくなります。

・これからも継続したい

・自分ではしないので、来て下さるのが大変助かります。

・身体が軽くなったので外出の機会を増やしていきたい。

・少しずつ手を使えるようになった。

・体調の変化に気づいてもらえるので、医師の診察を受けた方が良いなど助言をしてもらえるのでありがたい。

・デイに行かない日でも運動できるので良い。

質問４

**これから、具体的にどのように訪問リハを利用していきたいですか？**

**その未来像（ビジョン）をお聞かせください。**

・暖かくなったら１人で散歩ができるようになっていたい。

・今まででとても満足しております。

・現状維持ができたらいい。

・継続したい。

・少しずつ外に出て歩けるようになると良いなと思っています。

・体調が良くなければぜひ続けてもらいたいです。

・デイに通えなくなったとき。

・出来れば各日にして来て頂きたいと思います。

・病気の進行もあるので少しでも長く動ける状態でありたい。

・訪問リハを利用させていただき少しでも長く元気でいたいです。

・また、悪くなったときはお願いしたい。